



風俗
淺聞
嶽
六篇



甘泉堂

遠
2502
6-3



安政三丙辰新板目錄

地本草紙問屋 芝神明前 和泉屋市兵衛版

踊形容花競

初編より十編まで當年出版

編者 柳水亭種清
画工 一陽齋豊國

此はさうし豊國が画ける多くの錦画を種清がさうしとらへた項の
點表紙に似よりの品のそれら多く三都のうちにあづま錦画ごとのよう
あし高評をうの八文舎をあてがりのあしう形容初えうら時ごま
心進みく出版はるゆりとのゆりんの程希上きりい 板元 敬告

及假古名

一休草紙 柳下亭種員作
九編編編
出版

一雄齋國輝画

女郎花五色石臺 同作
七編編編
九編編編

國盛画

壽

雷

壽

風俗淺間獄

五編
上鈔

種清作

國貞画

甘泉堂梓



風俗



升
上
田
國
金

窠

柳水亭種清作
一壽齋國自



甘泉堂梓



遠
2502
6-3

浅間
嶽

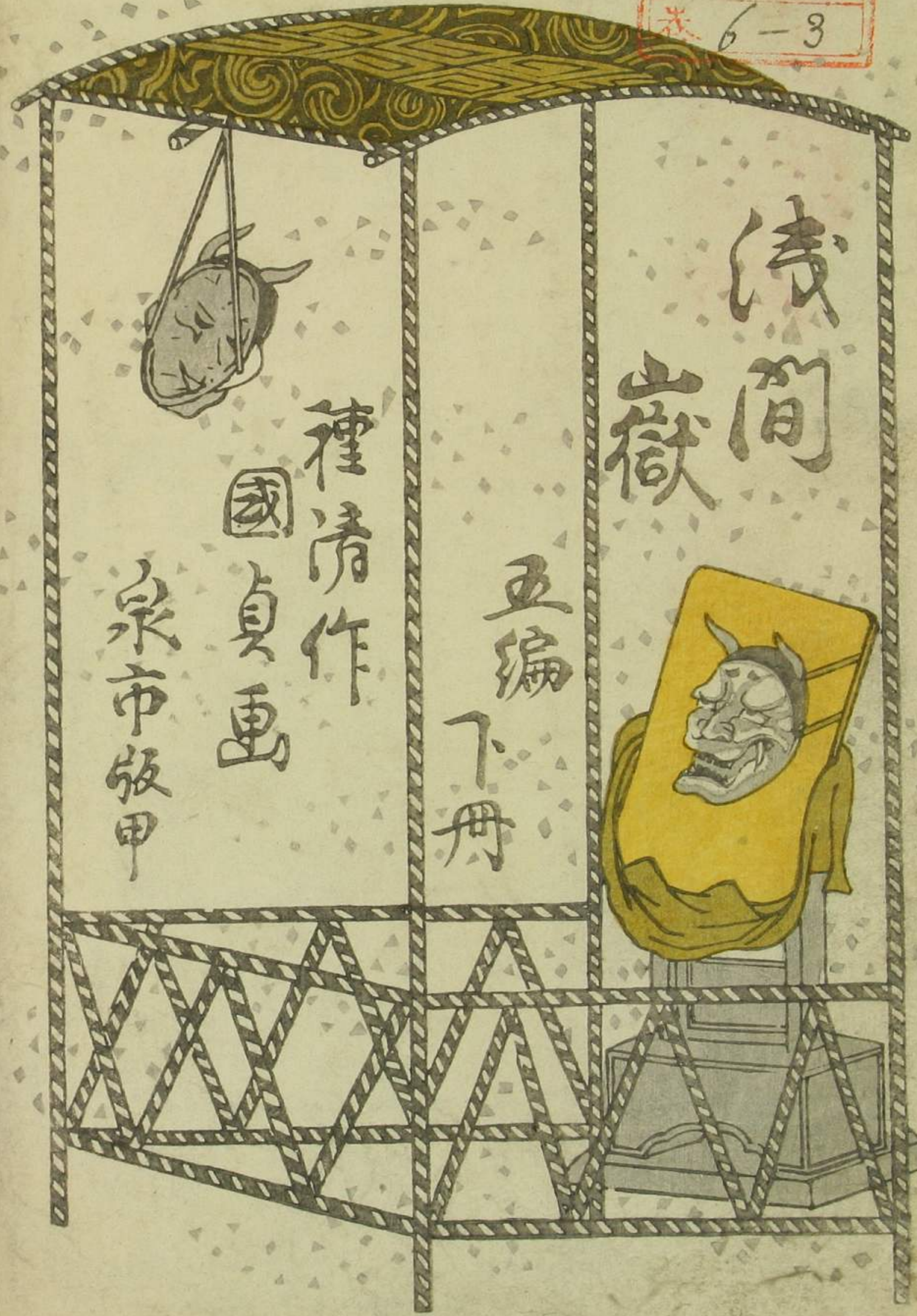


五編
下冊

種清作

國貞画

泉市版甲



一

筆迷ひを執る時ハ兎鬼とるる鳥馬とわくる紙垢變じて速磨とたる狐の上
 こも遊君あまの狸と學まざる客人あま野婆が奥山の狂躍ハ鬼猫と看る
 小髻髷う雷神門下と躋出る蹇乞車ハ火車とも見ゆれど函嶺己東の
 柳が下より幽霊めききつる妖怪ハ出ま種清ごときこの蝙蝠作者が鳥ある街途と
 飄遊て甘き泉ハ澤育られ漸く浅間の後續と次當便時鳥ハ怪譚ハ
 取次て試て屬意ヤ悪うり香童の夜遊ハ此と嫌々と懐くごられ
 由衆暮る船幽霊の底脱匙枚よく酔で御覽下ら水も持てる虚假妄説玉屋ハ
 解似と提灯小藏ハ紙一枚を捨りて切怖る物うハある

安政四年
某月發兌

柳水亭種清

浅間嶽五編





月見上之圖



瞿麥御前の
 邪行遂小娘
 海小弱没
 まる圖

月見上之圖





江戸の町は、昔から賑わい、花見の季節は、人々を魅了する。この絵は、江戸の町並みと、花見の情景を描いている。右側の欄には、江戸の町並みと、花見の情景を描いた挿話や説話の文字が記されている。



江戸の町は、昔から賑わい、花見の季節は、人々を魅了する。この絵は、江戸の町並みと、花見の情景を描いている。



江戸の町は、昔から賑わい、花見の季節は、人々を魅了する。この絵は、江戸の町並みと、花見の情景を描いている。

江戸の町は、昔から賑わい、花見の季節は、人々を魅了する。この絵は、江戸の町並みと、花見の情景を描いている。

ついでにかつちもあはれまはし
あつちのうらなまはるるも
ついでにかつちもあはれまはし
あつちのうらなまはるるも
ついでにかつちもあはれまはし
あつちのうらなまはるるも
ついでにかつちもあはれまはし
あつちのうらなまはるるも

○たつちのうらなまはるるも
あつちのうらなまはるるも
あつちのうらなまはるるも
あつちのうらなまはるるも
あつちのうらなまはるるも
あつちのうらなまはるるも
あつちのうらなまはるるも
あつちのうらなまはるるも

ついでにかつちもあはれまはし
あつちのうらなまはるるも
ついでにかつちもあはれまはし
あつちのうらなまはるるも
ついでにかつちもあはれまはし
あつちのうらなまはるるも
ついでにかつちもあはれまはし
あつちのうらなまはるるも





つぎ ちよのぶらひむらこのあや色
 とるこのふきまあるふまうせ
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき
 ちよのぶらひむらこのあや色
 とるこのふきまあるふまうせ
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき

ひんてまごやちよのぶらひむら
 んのあや色とるこのふきまある
 ふまうせかきかきかきかき
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき
 ちよのぶらひむらこのあや色
 とるこのふきまあるふまうせ
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき

ちよのぶらひむらこのあや色
 とるこのふきまあるふまうせ
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき
 ちよのぶらひむらこのあや色
 とるこのふきまあるふまうせ
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき



ちよのぶらひむらこのあや色
 とるこのふきまあるふまうせ
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき
 ちよのぶらひむらこのあや色
 とるこのふきまあるふまうせ
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき

ひんてまごやちよのぶらひむら
 んのあや色とるこのふきまある
 ふまうせかきかきかきかき
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき
 ちよのぶらひむらこのあや色
 とるこのふきまあるふまうせ
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき

ちよのぶらひむらこのあや色
 とるこのふきまあるふまうせ
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき
 ちよのぶらひむらこのあや色
 とるこのふきまあるふまうせ
 かきかきかきかきかきかき
 もらふかきかきかきかき



つぎは
その目
ひまのひ

あつた
ひまのひ
うらやま

さういふ
うらやま
あつた



▲京
つぎは
その目
ひまのひ

あつた
ひまのひ
うらやま

さういふ
うらやま
あつた



つきのあつちとふゆか
毒草のついでにふゆか
ねいふたあつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか

あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか

あつちとふゆか

あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか



あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか

あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか

あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか
あつちとふゆか

種清作國貞画



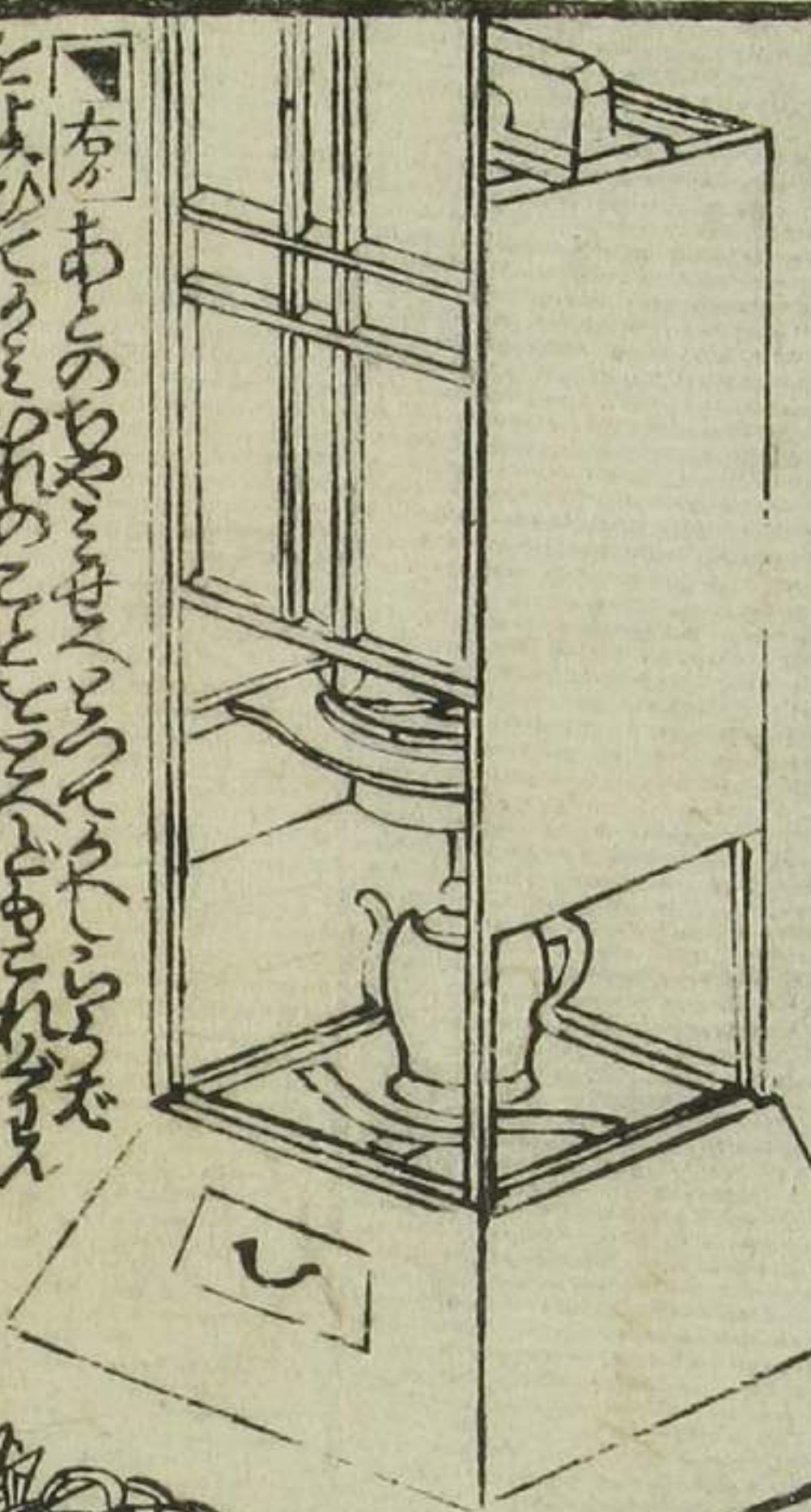
つぎ... (vertical text columns describing the scene and characters)



洋間鶴五郎

つぎのつてお
よききつてお

▲膝下(ひき)あせられ
るそあひひらきつておの
せあせあせりらあせり
ううせせりらあせりらあせり

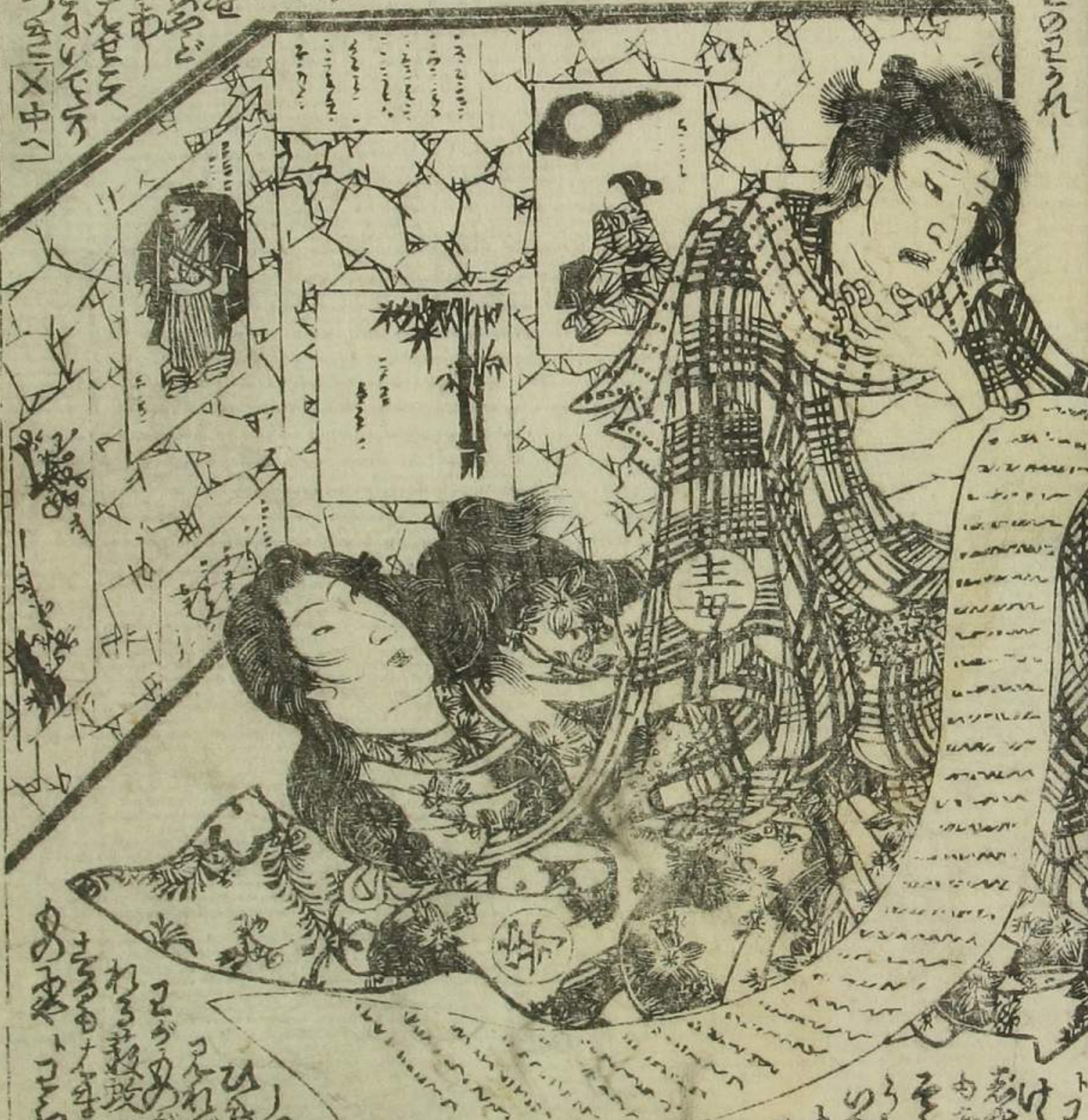


▼ちあこのちあせりらあせり
とあせりらあせりらあせり
あせりらあせりらあせり
あせりらあせりらあせり

▲このちあせりらあせり
とあせりらあせりらあせり
あせりらあせりらあせり
あせりらあせりらあせり

▼このちあせりらあせり
とあせりらあせりらあせり
あせりらあせりらあせり
あせりらあせりらあせり

▲このちあせりらあせり
とあせりらあせりらあせり
あせりらあせりらあせり
あせりらあせりらあせり



▼このちあせりらあせり
とあせりらあせりらあせり
あせりらあせりらあせり
あせりらあせりらあせり



浅野川五郎

一四



浅野川五郎

一五



一、ついでに
 二、さきほに
 三、おぼへに
 四、あまに
 五、はらに
 六、あまに
 七、あまに
 八、あまに
 九、あまに
 十、あまに
 十一、あまに
 十二、あまに
 十三、あまに
 十四、あまに
 十五、あまに
 十六、あまに
 十七、あまに
 十八、あまに
 十九、あまに
 二十、あまに



一、あまに
 二、あまに
 三、あまに
 四、あまに
 五、あまに
 六、あまに
 七、あまに
 八、あまに
 九、あまに
 十、あまに
 十一、あまに
 十二、あまに
 十三、あまに
 十四、あまに
 十五、あまに
 十六、あまに
 十七、あまに
 十八、あまに
 十九、あまに
 二十、あまに

一、あまに
 二、あまに
 三、あまに
 四、あまに
 五、あまに
 六、あまに
 七、あまに
 八、あまに
 九、あまに
 十、あまに
 十一、あまに
 十二、あまに
 十三、あまに
 十四、あまに
 十五、あまに
 十六、あまに
 十七、あまに
 十八、あまに
 十九、あまに
 二十、あまに

漢語文字，垂直排列，环绕插图。包含多个方框标注，如 [X] 和 [Y]。



漢語文字，垂直排列，环绕插图。包含多个方框标注，如 [X] 和 [Y]。



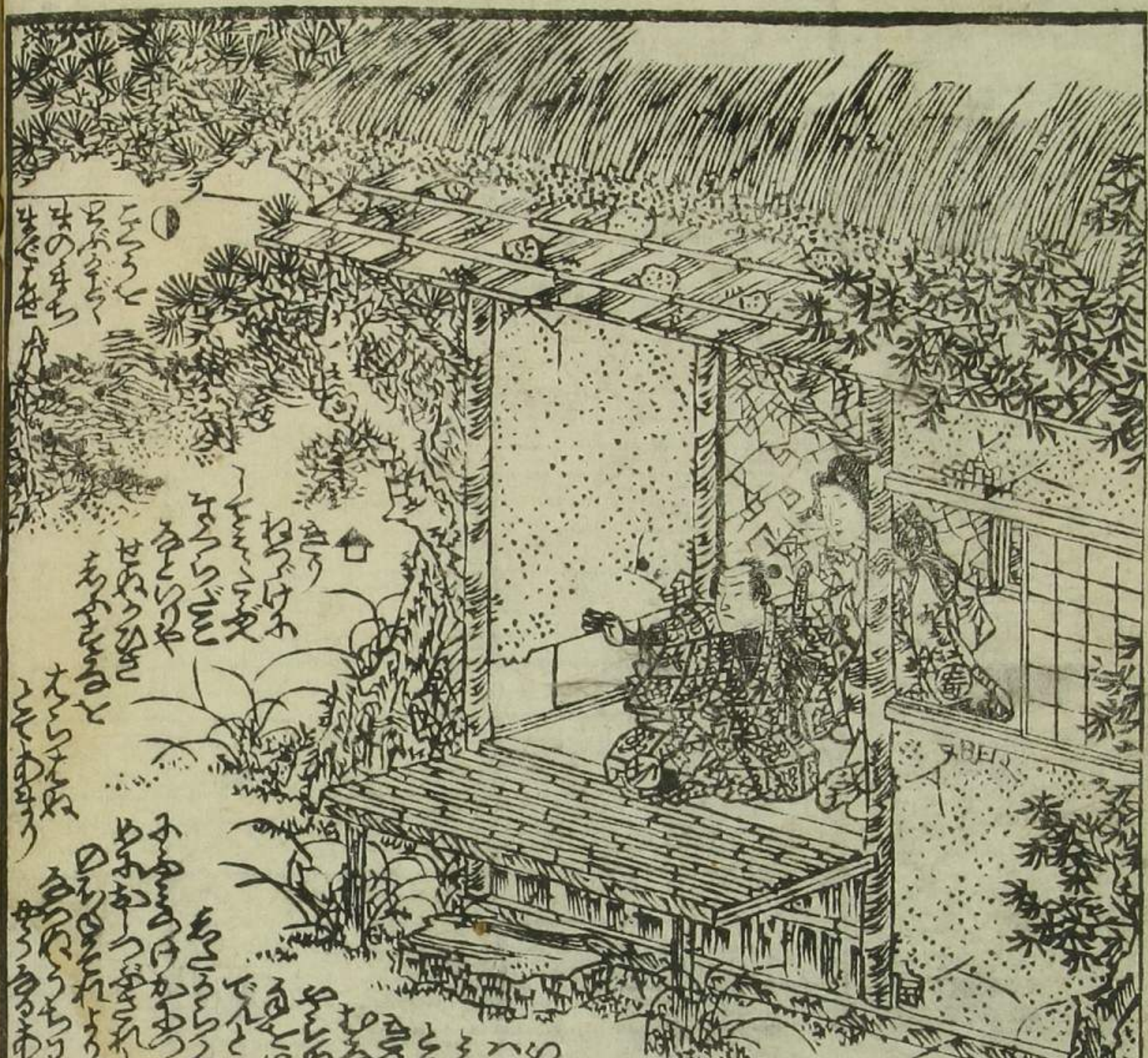


Handwritten text at the top of the left page, including the characters '鳥' (bird) and '聖' (holy).

Handwritten text in the upper middle section of the left page, describing the scene.



Handwritten text at the bottom of the left page, including the characters '鳥' and '聖'.



Handwritten text at the bottom of the right page, including the characters '鳥' and '聖'.

Vertical text on the right edge of the right page, including the characters '鳥' and '聖'.

Small vertical text at the bottom right corner of the right page.

▲左
本名...
...



▲左
本名...
...



▲右
本名...
...

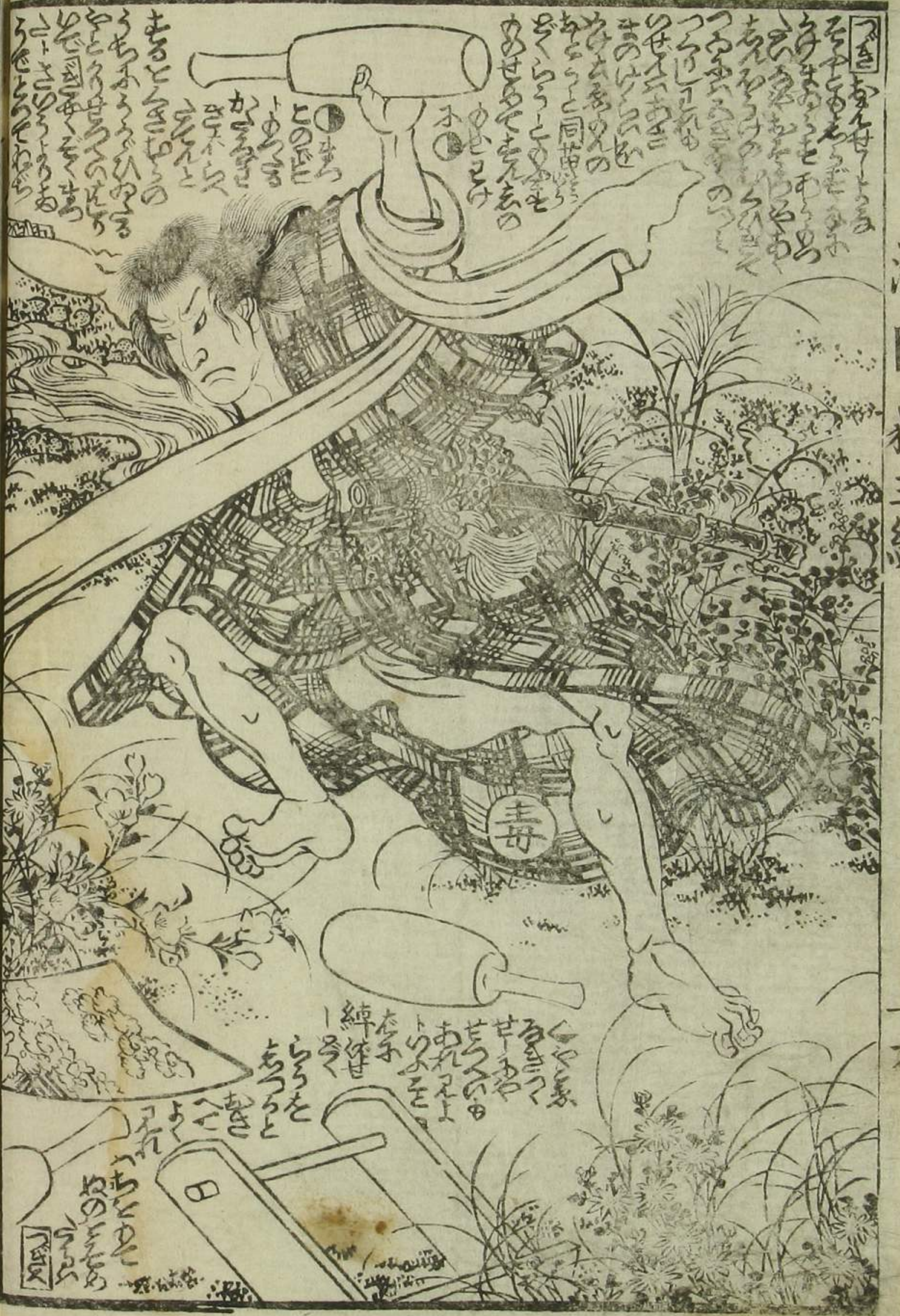


▲左
本名...
...



▲右
本名...
...

海門集五



浮世草子五巻



作者曰
 此の景は清野山持五翁の
 筆に依りて作られたるもの
 なり。其の景は、清野山の
 真野の里の初頭、古説ハ
 六編の初頭、昔洲、青洲
 の景に依りて作られたるもの
 なり。其の景は、清野山の
 真野の里の初頭、古説ハ
 六編の初頭、昔洲、青洲
 の景に依りて作られたるもの
 なり。

此の景は清野山の真野の里の初頭、古説ハ六編の初頭、昔洲、青洲の景に依りて作られたるものなり。

金龍山背狂子
 柳水亭種清作
 梅蝶樓國貞画

清野山

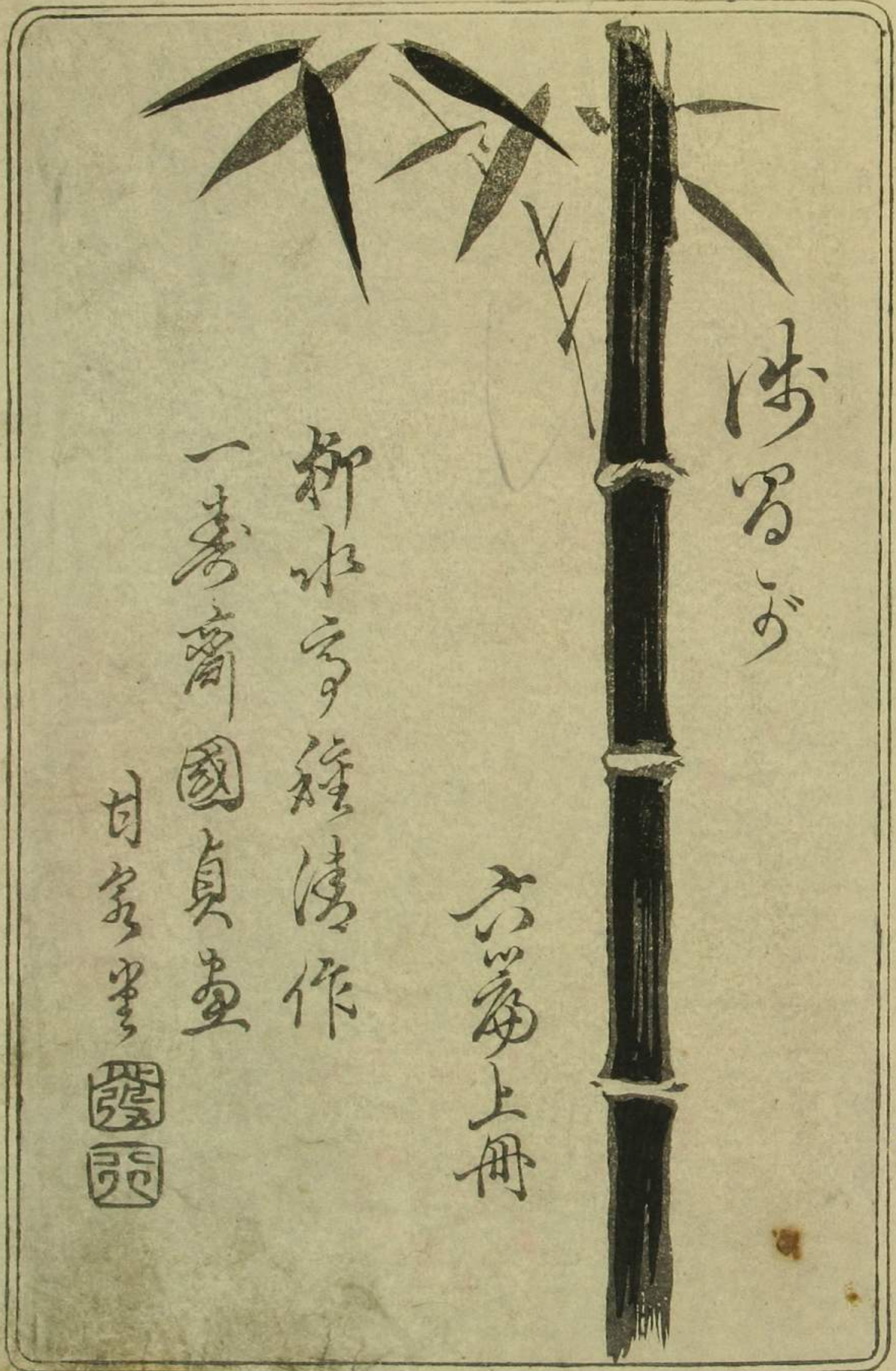


六島上冊

柳水亭種清作

一考齋國貞畫

甘多筆
 國貞





種
 法
 下
 女
 上
 乃

物
 う
 ぢ
 ぢ
 何
 さ
 ら
 の
 ぢ
 美
 々
 心
 の
 ん
 も
 の
 ぢ
 た
 ら
 何
 ぢ



上
 乃

何れもこのしるし

第六つむ下の

また

あま

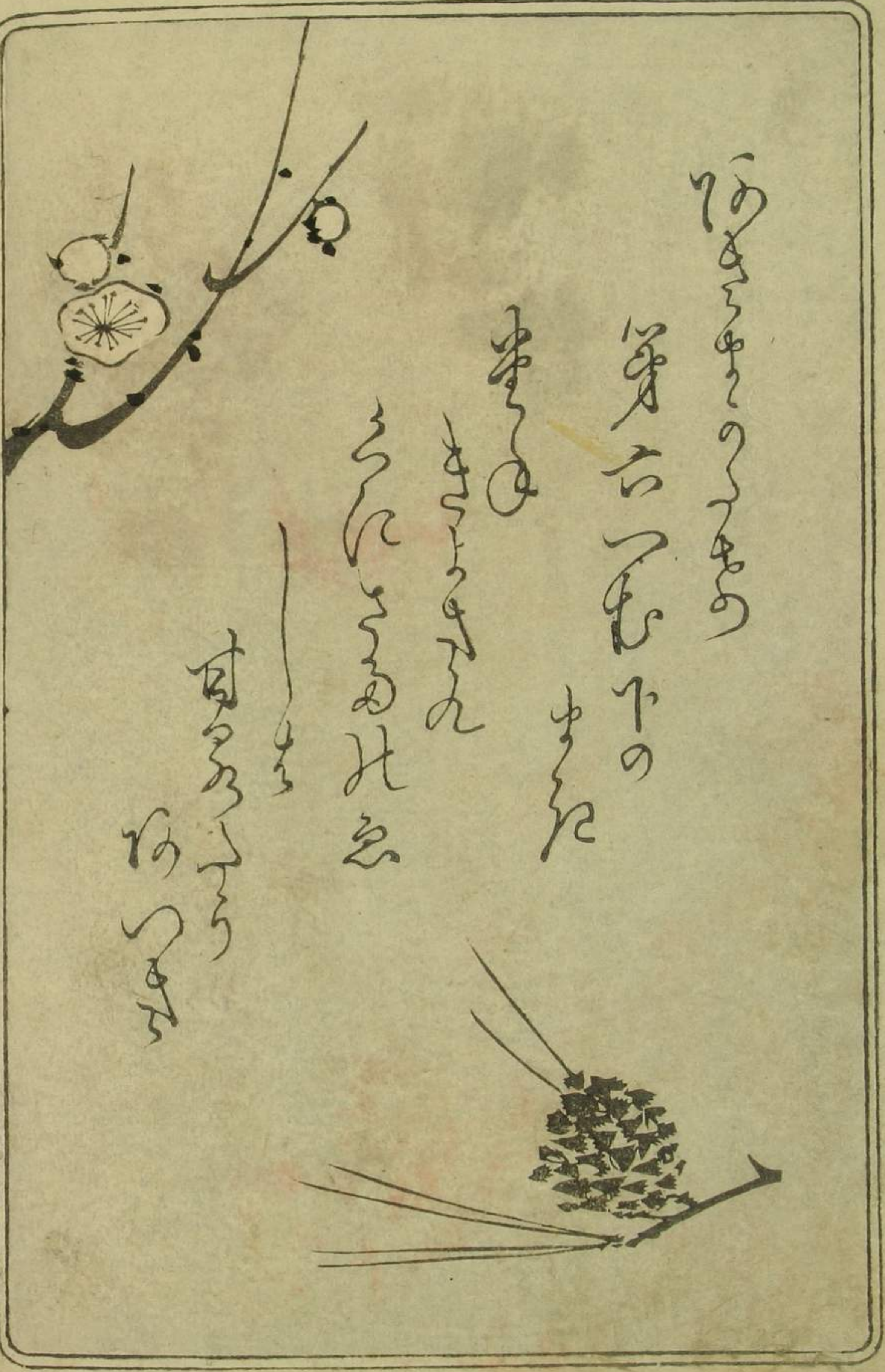
あま

くらゐるれえ

しるし

あま

あま



南都の唱歌ハ圓まるヤて艶えん多おほ東都の唱歌ハ方かたあつて色いろ多おほ
色いろと艶えんとハ大同小異たいどうせうい喩たとへハ糸いとと綿わたとの如ごと南都ハ紅べに宜よろ東とう
都とハ紫むらさ宜よろ一ひと單たんの物もの中なかて艶えんハ色いろの濃こほとハ方かたあつて説せ响きやうハ
紅べに赤あか白しろの混まハて西南せいなんと掌てのひらハ今いま京きやうの水みづハ稱なづハ紫むらさハ青あお紅べにと
混まハて是こゝ東南とうなんの間ま也なり過す年とし深ふか川がはの色いろ界かゝハ問と色いろの
理りの一端ひとへ於お其その色いろ艶えんの差別さべつあり糸いとと綿わたととよく用もちひて戀こゝろの誓ちかする
浅あさ間ま嶽たけハ大おほ被ひと調てう繕せんハ吾われ祖そ柳りやう亭ていありけりと種たね清きよ面めんハ拙せつ筆ひつ
撰せん擇たくして此こゝ歳としの冬ふゆと温ぬくらんとと

安政丁巳歲初殊

柳水亭種清

浅間嶽六編





列女時鳥の靈



淺間巴之幽良治
田字草の遊君逢那



瞿麥の靈

去歲内殿
星影毒九郎

後月天六編



注用為六編

鉾鹿山女馬奉
実松山嶺鬼神於松





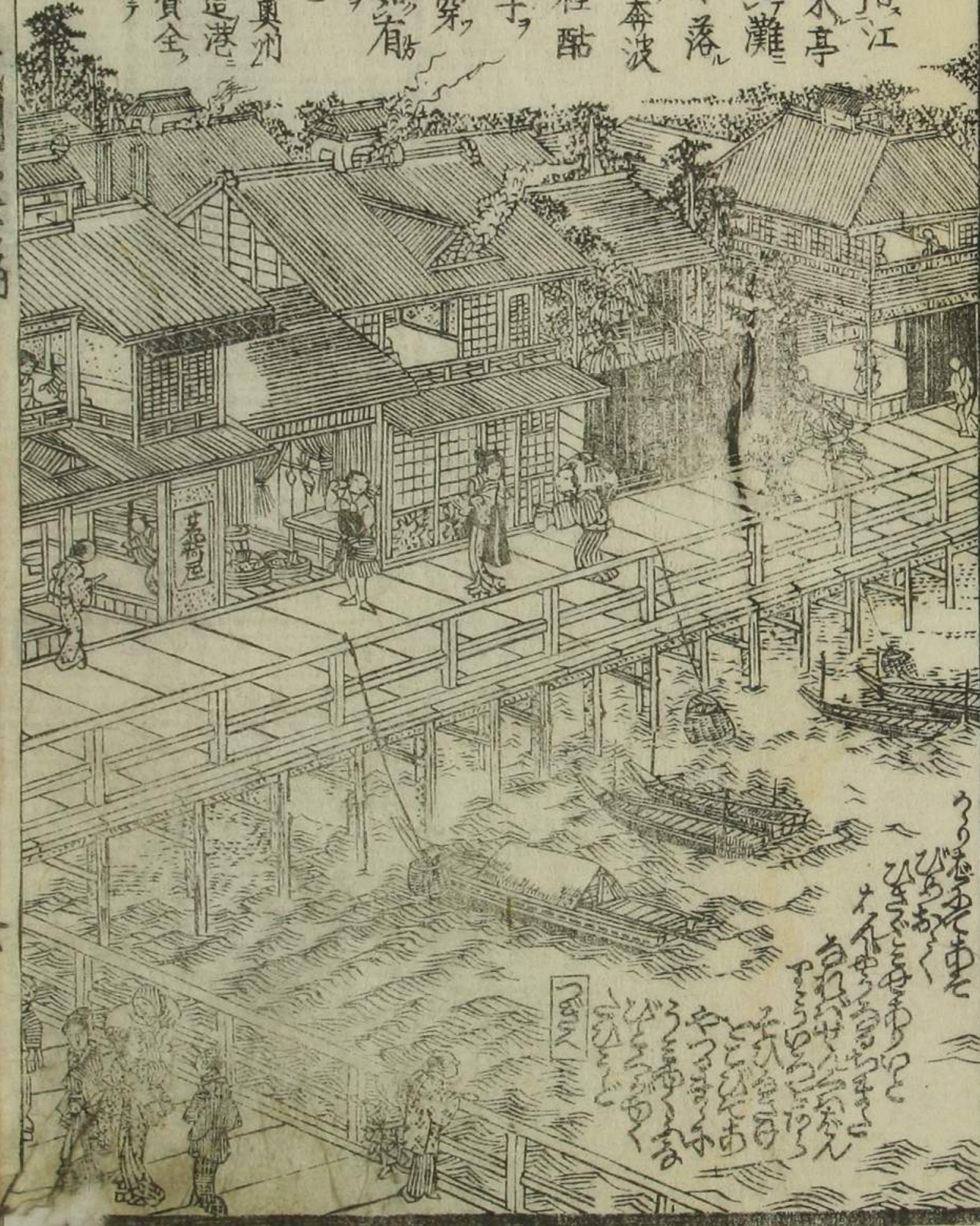


浅間山編



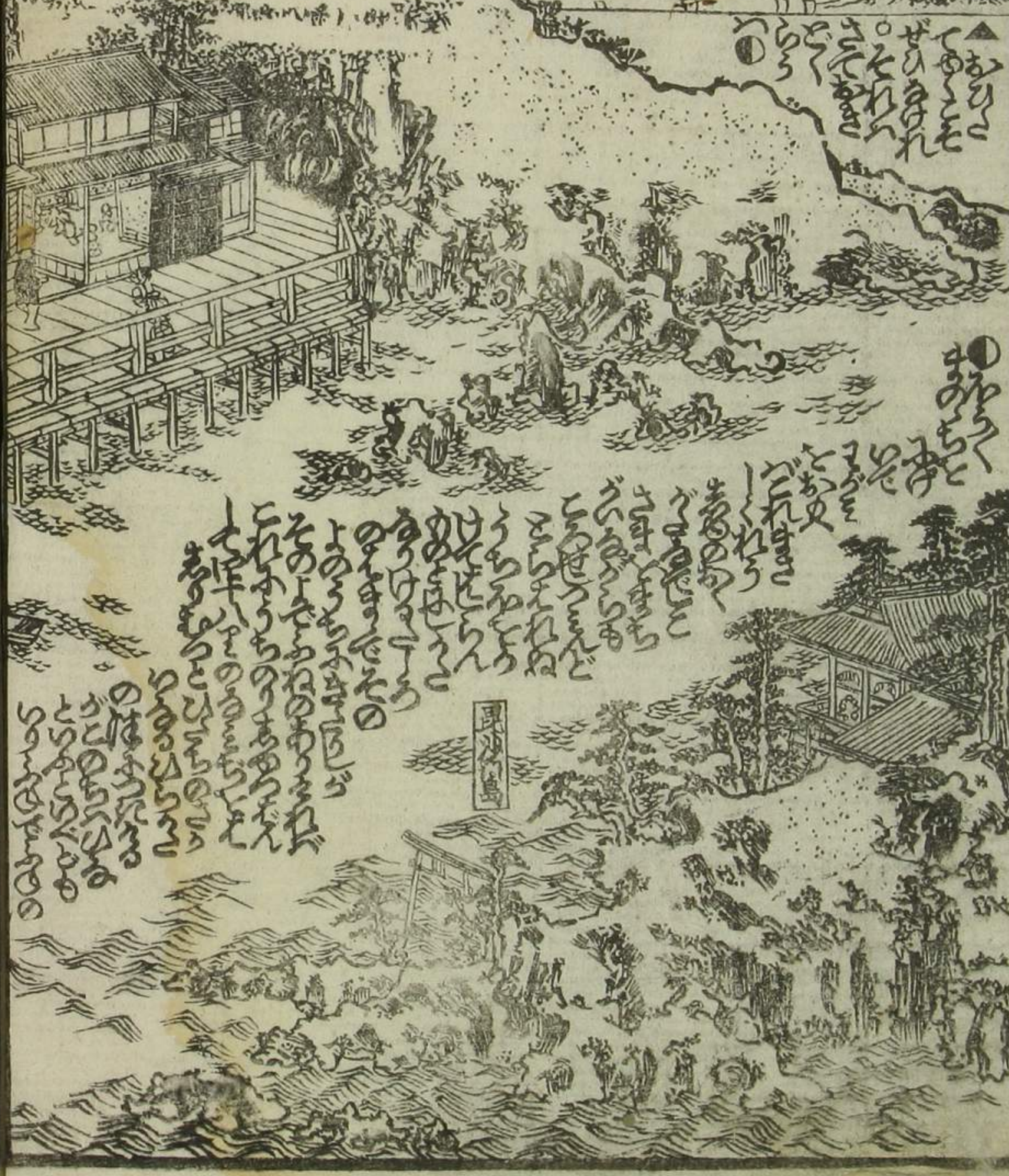
浅間山編

平瀉一泊
 娼樓漁棧泊江
 山引妓勸來亭
 主共饒々當灘
 看鯛往朝々落
 嶺聽鷹還奔波
 万變轉瞳裡酷
 酒千錢翻手
 問窓紙誰穿
 窺客穴月如有
 意照醜顏
 過年種清從奧州
 扁之途次泊這港
 而長酒也路資全
 盡矣留律以
 記其駐



常陸の國
 平瀉の津
 眞圖

ついでに、この平瀉の津は、昔から名産の鯛が獲れる所である。また、この津の近くに、鷹の嶺という所がある。鷹の嶺は、昔から鷹の巣の所である。この津の風景は、とても美しい。昔から、多くの人がこの津を訪れる。この津の歴史は、とても長い。昔から、この津は、多くの商人が集まる所である。この津の文化は、とても豊かな。昔から、この津は、多くの人が住んでいる。この津の生活は、とても楽しい。昔から、この津は、多くの人が愛している。この津の未来は、とても明るい。昔から、この津は、多くの人が誇りに思っている。この津の過去は、とても栄えた。昔から、この津は、多くの人が大切にしている。この津の現在も、とても素晴らしい。昔から、この津は、多くの人が夢を叶える所である。この津の希望は、とても大きい。昔から、この津は、多くの人が力を合わせる。この津の絆は、とても強い。昔から、この津は、多くの人が心を合わせる。この津の情は、とても深い。昔から、この津は、多くの人が涙を流す所である。この津の涙は、とても美しい。昔から、この津は、多くの人が笑顔を浮かべる。この津の笑顔は、とても輝かしい。昔から、この津は、多くの人が涙を拭く所である。この津の涙は、とても清い。昔から、この津は、多くの人が涙を流す所である。この津の涙は、とても美しい。昔から、この津は、多くの人が笑顔を浮かべる。この津の笑顔は、とても輝かしい。昔から、この津は、多くの人が涙を拭く所である。この津の涙は、とても清い。



この津の風景は、とても美しい。昔から、多くの人がこの津を訪れる。この津の歴史は、とても長い。昔から、この津は、多くの商人が集まる所である。この津の文化は、とても豊かな。昔から、この津は、多くの人が住んでいる。この津の生活は、とても楽しい。昔から、この津は、多くの人が愛している。この津の未来は、とても明るい。昔から、この津は、多くの人が誇りに思っている。この津の過去は、とても栄えた。昔から、この津は、多くの人が大切にしている。この津の現在も、とても素晴らしい。昔から、この津は、多くの人が夢を叶える所である。この津の希望は、とても大きい。昔から、この津は、多くの人が力を合わせる。この津の絆は、とても強い。昔から、この津は、多くの人が心を合わせる。この津の情は、とても深い。昔から、この津は、多くの人が涙を流す所である。この津の涙は、とても美しい。昔から、この津は、多くの人が笑顔を浮かべる。この津の笑顔は、とても輝かしい。昔から、この津は、多くの人が涙を拭く所である。この津の涙は、とても清い。



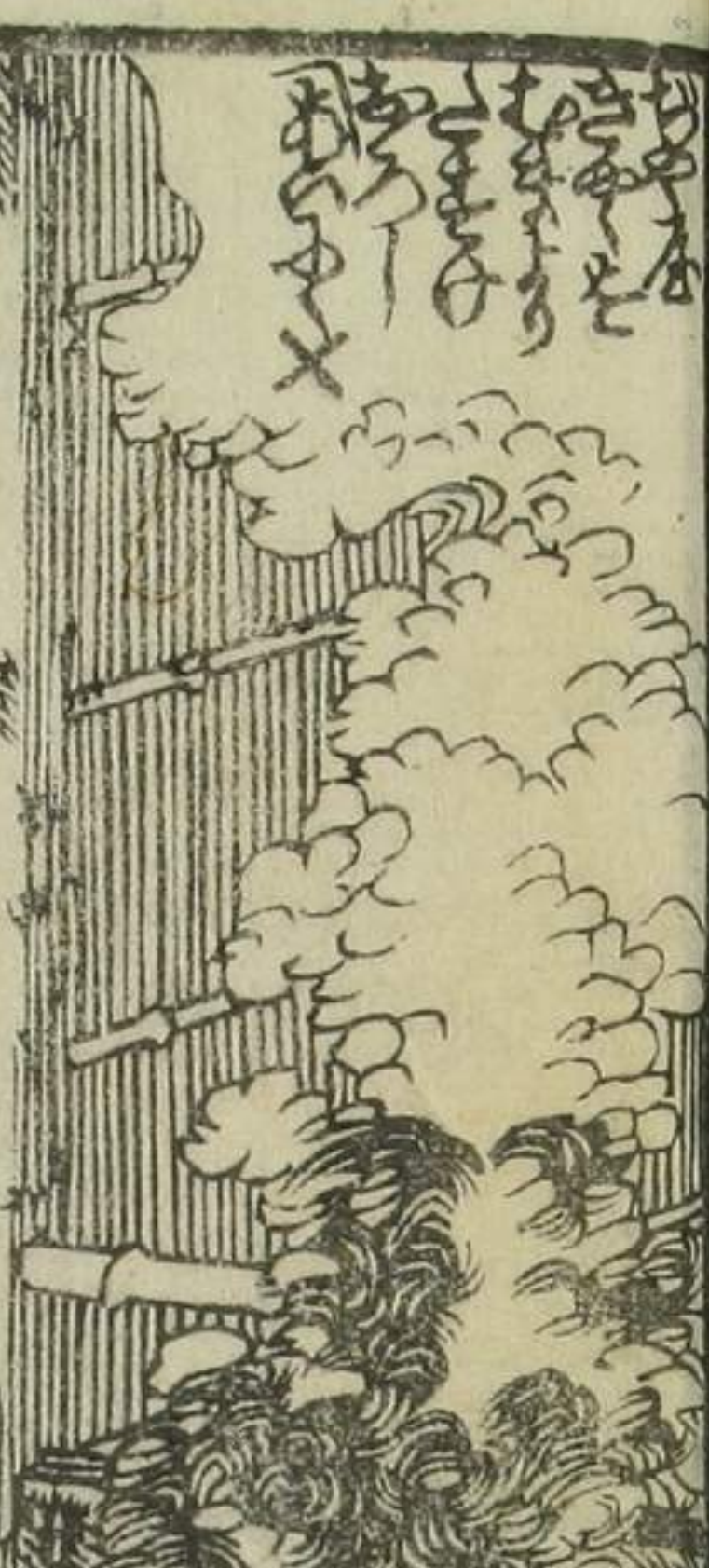
浅間篇六編





馬の飼育
馬の飼育は、草を食らせた後、水を飲ませ、日光を浴びせ、定期的に蹄を削ぐことが重要である。馬の健康を維持するためには、適切な飼料と管理が不可欠である。

馬の飼育



馬の飼育
馬の飼育は、草を食らせた後、水を飲ませ、日光を浴びせ、定期的に蹄を削ぐことが重要である。馬の健康を維持するためには、適切な飼料と管理が不可欠である。



扇の文化
扇は、日本の伝統的な文化の一つであり、夏の風物詩として知られている。扇の種類は多く、用途も多岐にわたる。扇の製作技術は、長い歴史を誇る。

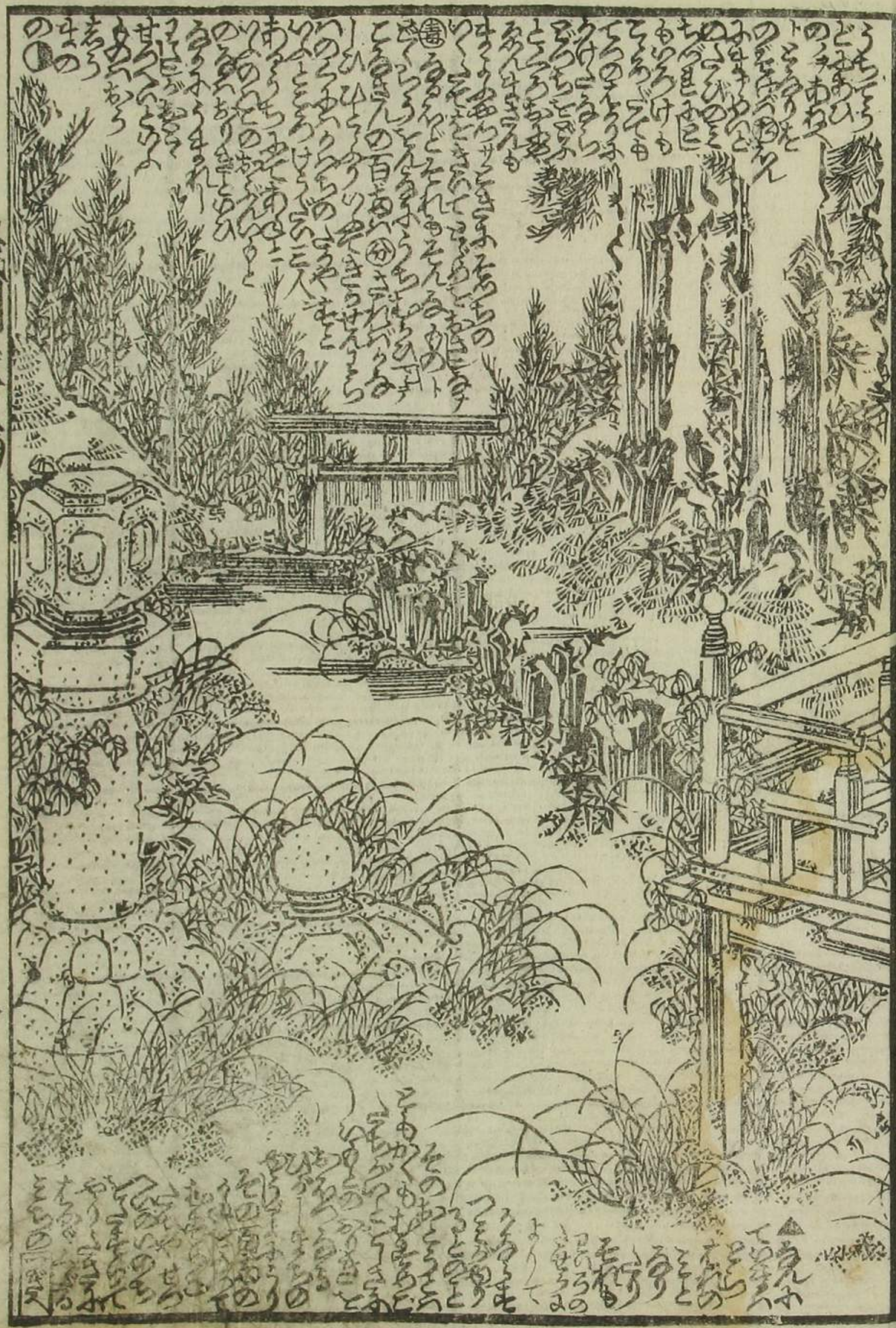
扇の文化



種清作 國貞画

海内集





江戸名所

江戸名所

この庭は、昔の大名の邸宅に
あつたもので、石の燈籠や
木製の柵、そして様々な
植物が植えられて、とても
美しい景観を演出して
いる。特に、この石の燈籠
は、その彫刻が非常に
精巧で、見る者を驚か
せる。また、庭の奥には
大きな木が立ち、その
下には涼しい影が落ち
ている。この庭は、江戸
の名所として、多くの人
々を魅了している。

この部屋は、江戸時代
の典型的な内装である。
畳の床は、清潔で暖か
い。障子の窓からは、
外の景色が透り見える。
また、この部屋には、
様々な家具や装飾品が
あり、その美しさが、
江戸の文化を伝える。特
に、この障子の絵は、
とても繊細で、見る者
を魅了している。この
部屋は、江戸の名所と
して、多くの人々を魅
了している。

この庭は、昔の大名の邸宅に
あつたもので、石の燈籠や
木製の柵、そして様々な
植物が植えられて、とても
美しい景観を演出して
いる。特に、この石の燈籠
は、その彫刻が非常に
精巧で、見る者を驚か
せる。また、庭の奥には
大きな木が立ち、その
下には涼しい影が落ち
ている。この庭は、江戸
の名所として、多くの人
々を魅了している。

この部屋は、江戸時代
の典型的な内装である。
畳の床は、清潔で暖か
い。障子の窓からは、
外の景色が透り見える。
また、この部屋には、
様々な家具や装飾品が
あり、その美しさが、
江戸の文化を伝える。特
に、この障子の絵は、
とても繊細で、見る者
を魅了している。この
部屋は、江戸の名所と
して、多くの人々を魅
了している。



海間橋六郎

七三

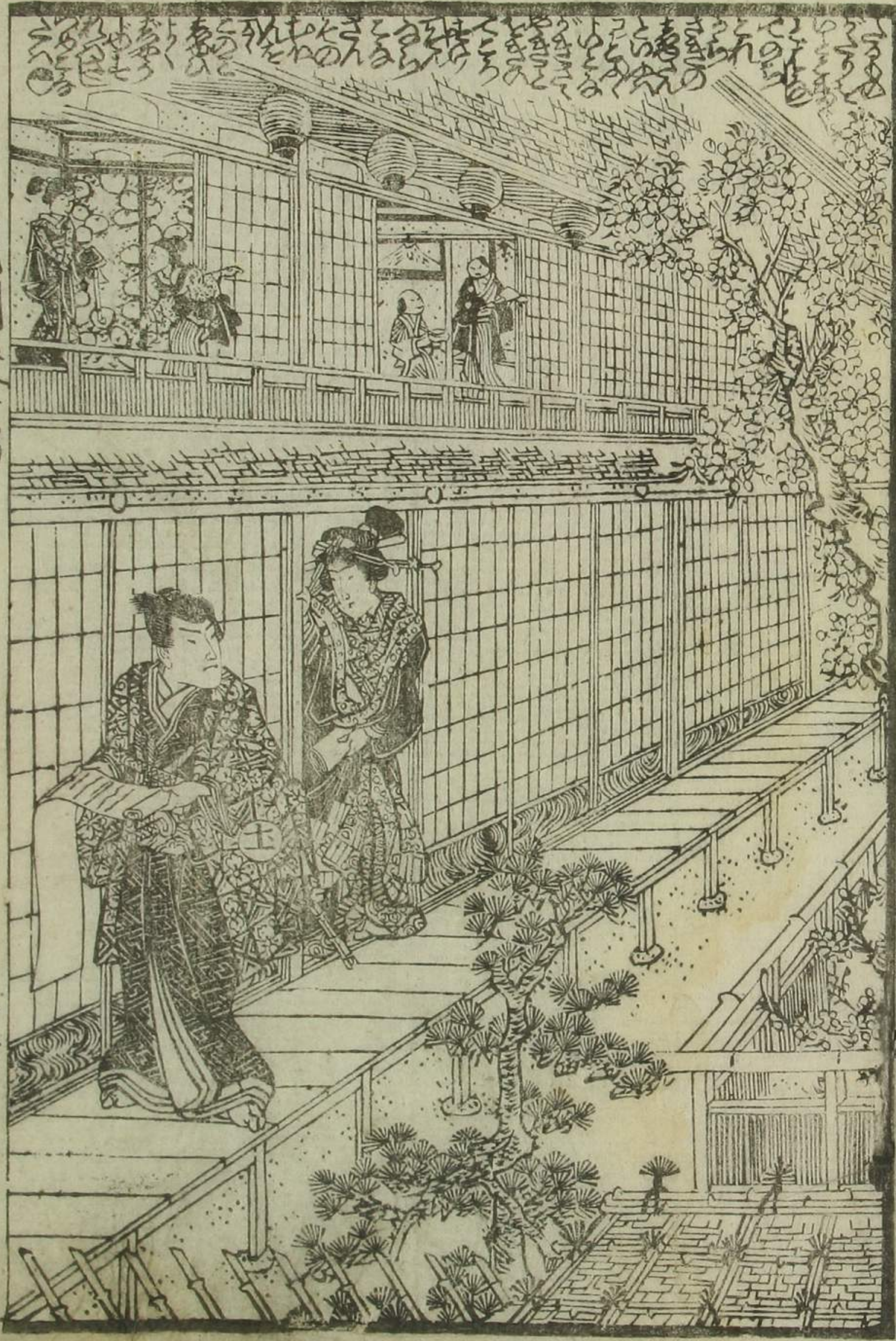




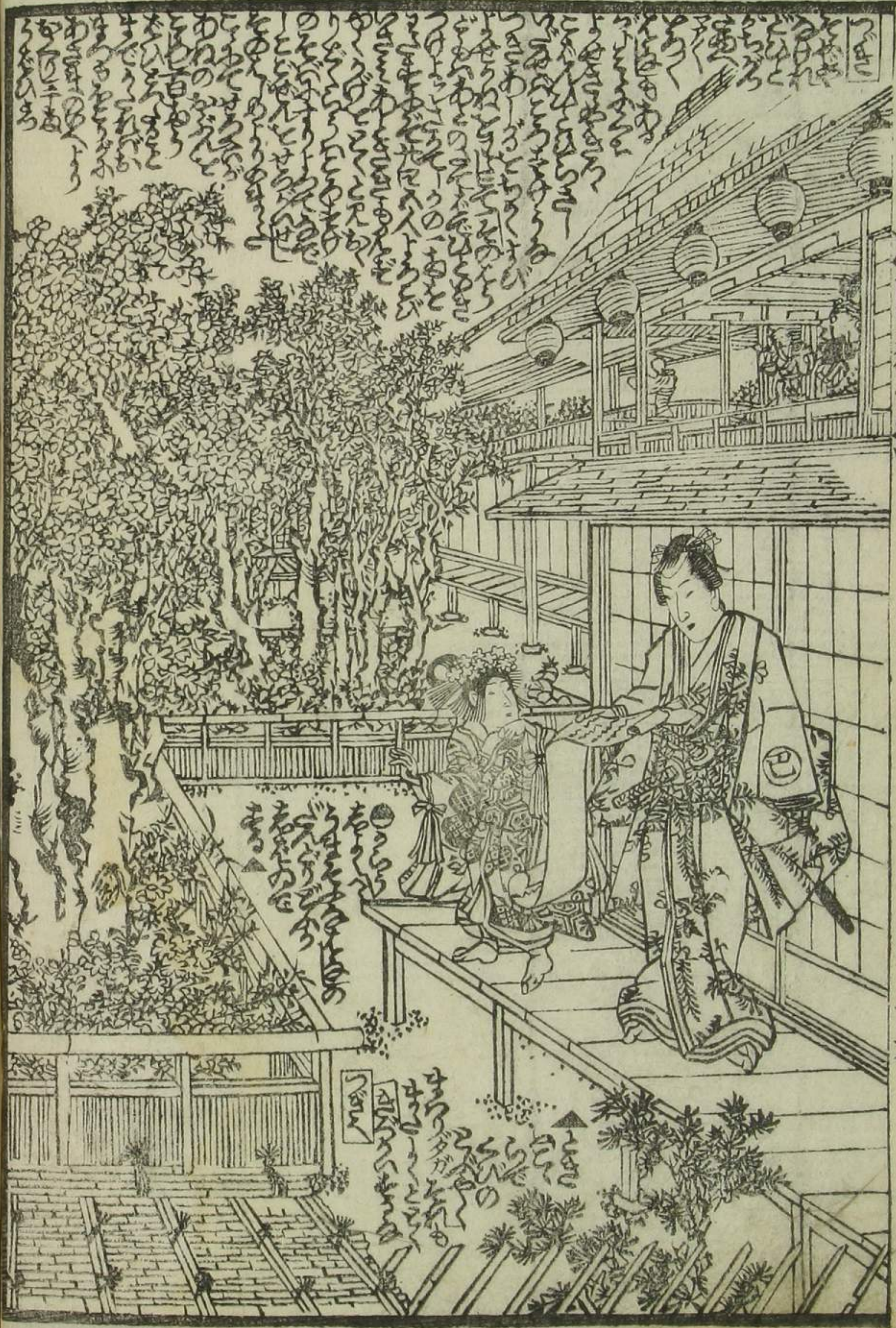
長門郡大森



長門郡大森



戌月 第六編





Vertical text on the left margin of the left page, likely a chapter or section title.

Extensive vertical Japanese text surrounding the illustration on the left page, including dialogue and narrative descriptions.



Vertical text on the right margin of the right page, likely a chapter or section title.

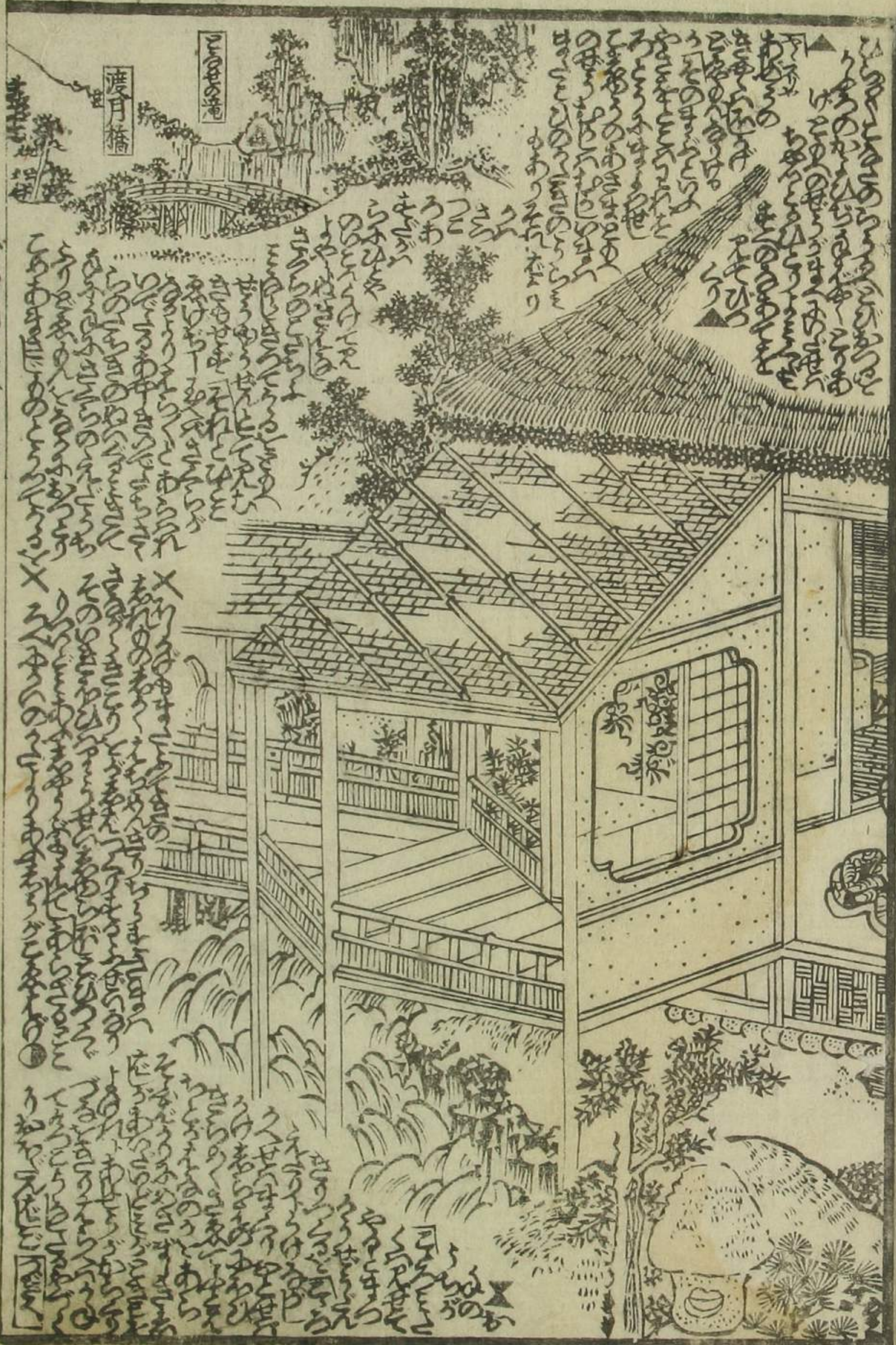
Extensive vertical Japanese text surrounding the illustration on the right page, including dialogue and narrative descriptions.



Vertical text on the left margin of the first page.

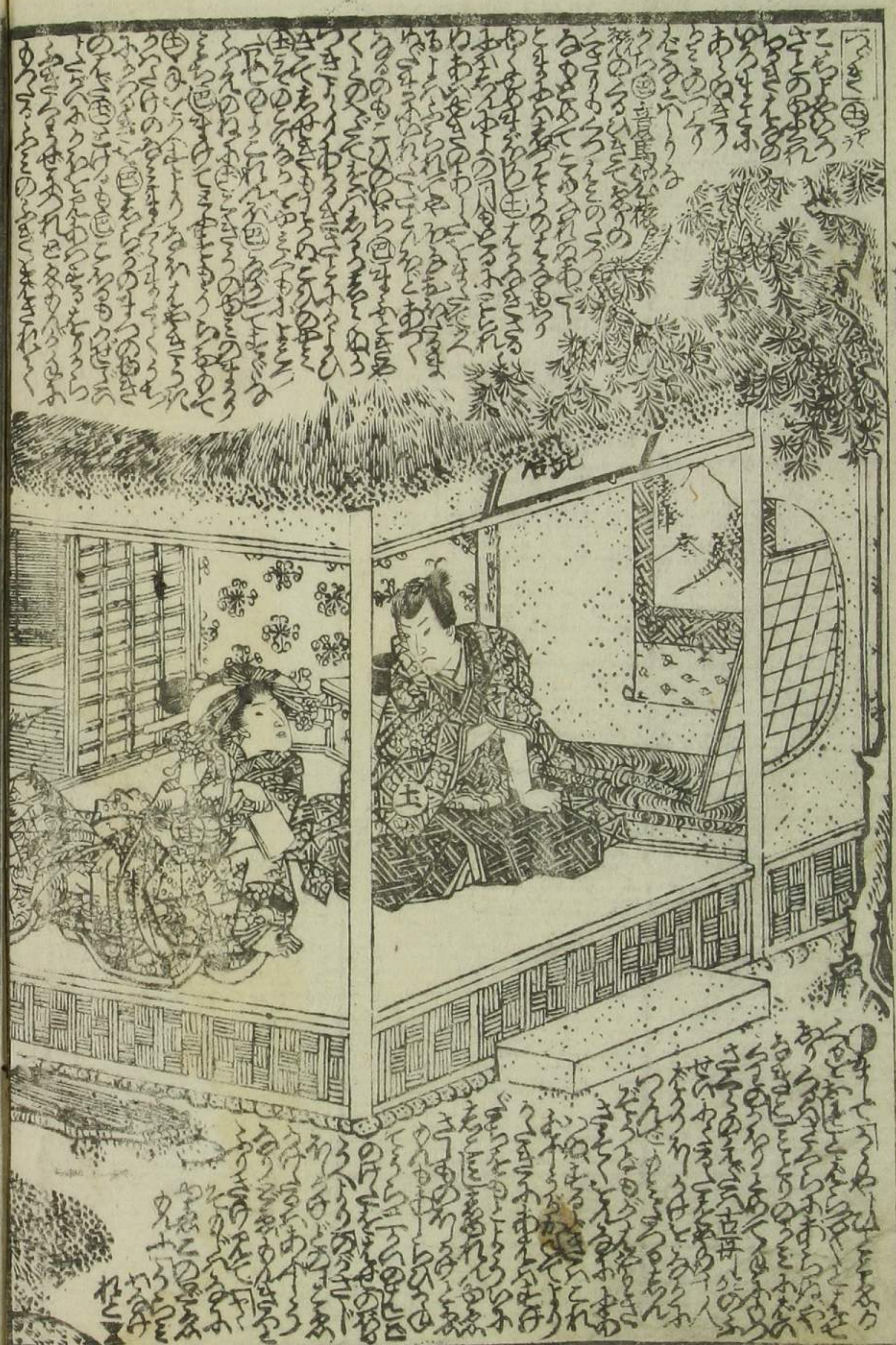
Vertical text on the left margin of the first page.

Vertical text on the right margin of the second page.



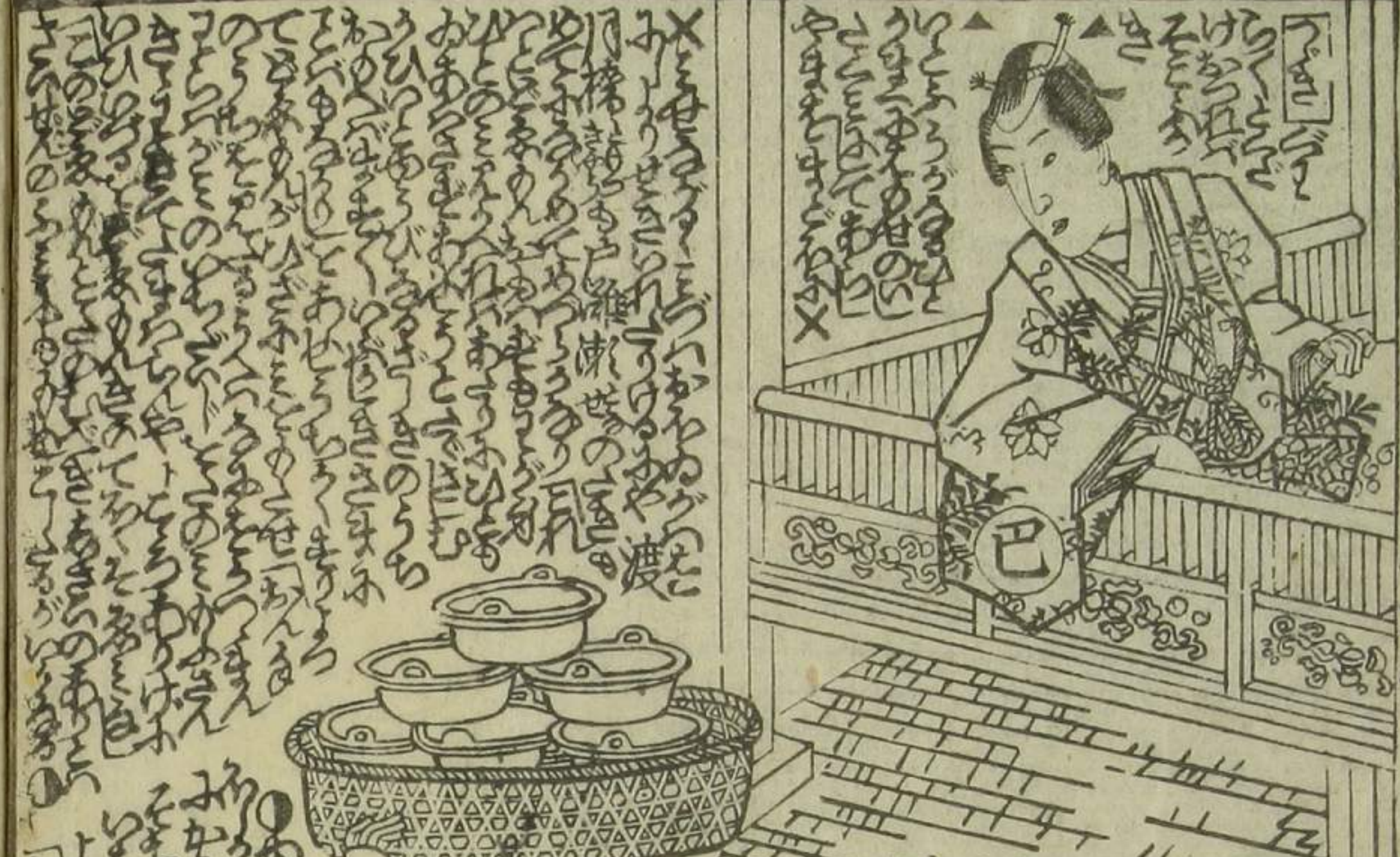
江戸門外

111



注用稿

種清作國貞画



種清作國貞画
 泥銚賣の
 浄書
 其田
 青洲
 於寄生か緯
 次編小奇わ

源平打毬

源平打毬
 双六
 けぞい白と赤
 の甲のちのつて
 中なるちをわ
 そよてのつく
 ありちまきこ
 あり

女郎花五色石亭

女郎花五色石亭
 八編
 折下多種員作
 一雄齊國程画

新編金瓶梅

新編金瓶梅
 初編
 曲亭馬琴作
 一陽齋豊國画

黄金水大空

黄金水大空
 七編
 為永美水化
 秋川國貞画

一猛齋芳虎画

一猛齋芳虎画
 三十六歌仙詠色双六
 身書者お扱つさふくぐ
 ざい一まの仕まらこのよ
 ありふひてげれとあざたる
 古今よひんあふ双六あり

柳下亭種員作 兒雷也豪傑譚

柳下亭種員作
 兒雷也豪傑譚
 卅一編
 卅二編
 卅三編
 一壽齋國貞画

芝神明前 甘泉堂 和泉屋市兵衛板

